

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立袋井高等学校

目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	20
3	学校施設の概要	21
4	在籍生徒調	23
5	入学志願者及び入学者数調	24
6	卒業生の動向調	25
7	生徒の状況	26
8	授業料収納状況調	27
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	29
10	預金調	30
11	郵券等受払調	30
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	31
13	委託料に関する調	33
14	負担金支出調	35
15	建築工事調	36
16	公有財産調	37
17	借地借家等調	38
18	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	39
19	行政財産貸付・使用許可調	40
20	職員公舎管理状況調	42
21	主要備品調	43
22	職員調	44
23	職員の年齢調	47
24	健康管理	48

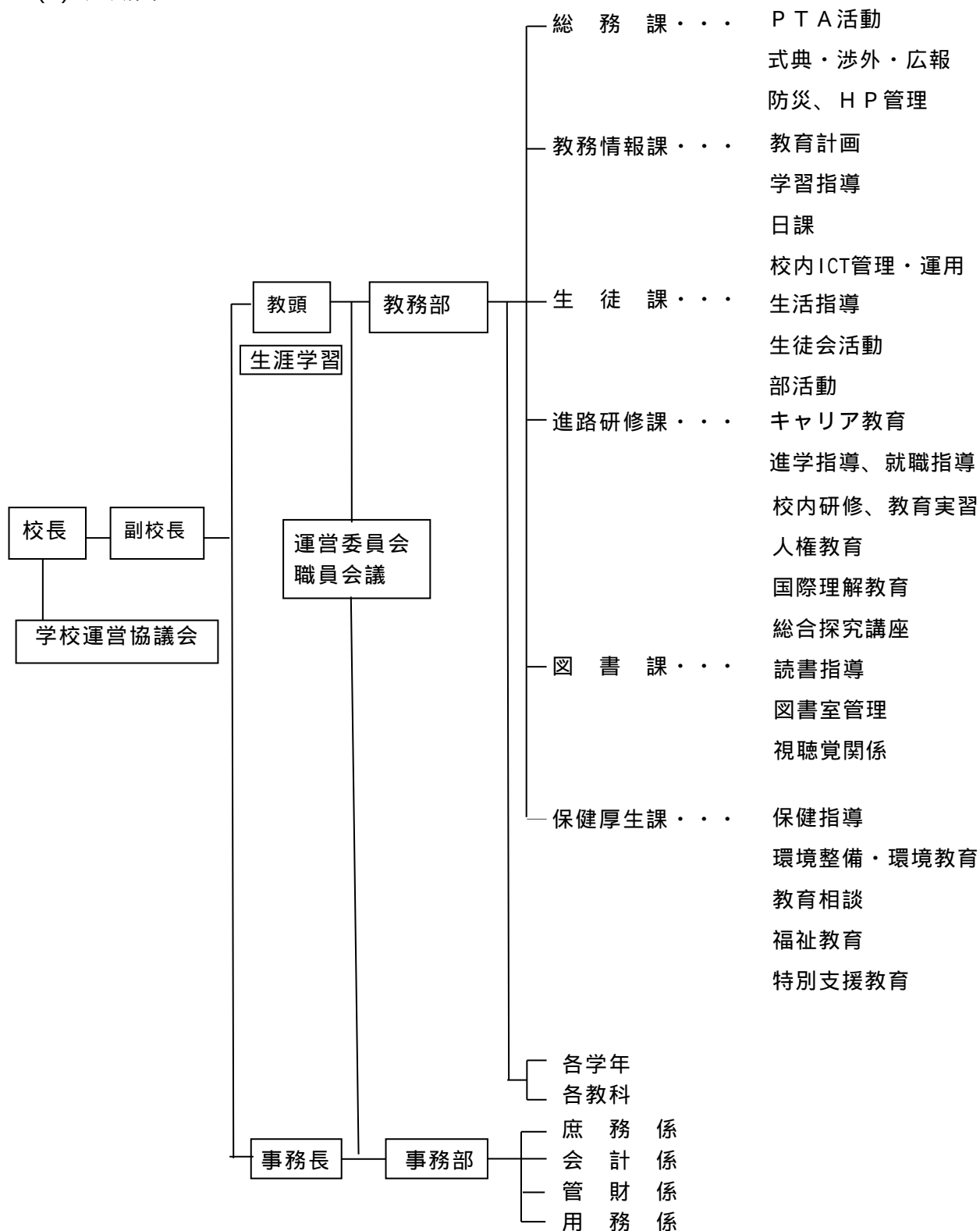
事務事業の概要

1 概 況

(1) 学校の沿革

- 昭和 50. 5.26 県教育委員会昭和51年度開校の新設高校設置場所を袋井市に決定
6. 1 新設高校設立準備委員長及び設立準備委員 1 人発令
11.28 校舎建築第 1 期工事起工式挙行
12.12 県議会に於いて、校名を「静岡県立袋井高等学校」とする件議決
51. 2.16 静岡県立袋井高等学校設立準備委員会事務所を袋井商業高校内に開設
4. 1 初代校長河合九平外専任教職員17人発令
袋井市立袋井南中学校を仮校舎として開校
生徒募集定員225人
4. 6 開校入学式挙行
52. 4. 1 生徒募集定員270人
53.12.18 校舎、体育館落成式、創立 3 周年記念式典挙行
54. 3. 6 第 1 回卒業証書授与式挙行
55. 2. 7 プール竣工 (25m)
4. 1 生徒募集定員315人
57. 4. 1 生徒募集定員270人
58. 4. 1 生徒募集定員360人
60.12. 4 創立10周年記念式典挙行
61. 4. 1 生徒募集定員405人
62. 3.25 特別教室棟竣工
平成 元. 4. 1 生徒募集定員450人
3. 4. 1 生徒募集定員405人
5. 4. 1 生徒募集定員387人
6. 4. 1 生徒募集定員378人
7. 4. 1 生徒募集定員369人
12. 2 創立20周年記念式典挙行
8. 4. 1 生徒募集定員360人
14. 4. 1 生徒募集定員320人
17. 4. 1 生徒募集定員280人
11.25 創立30周年記念式典挙行
22. 7.28 弓道場竣工
23. 3.15 卓球場竣工
25. 4. 1 オーストラリア「トマス・ハッサー校」との姉妹校提携
26. 2.21 生活会館「楨緑館」竣工
4. 1 生徒募集定員320人
令和 2. 4. 1 生徒募集定員280人
6. 4. 1 生徒募集定員240人

(2) 組織図



< 各委員会 >

- | | |
|----------------|------------|
| ・学校評価委員会 | ・学校保健委員会 |
| ・校内コンプライアンス委員会 | ・防災対策委員会 |
| ・部活動検討委員会 | ・職員交通安全委員会 |
| ・学校職員衛生委員会 | ・教育相談担当者会 |
| ・学校施設開放委員会 | ・特別支援教育委員会 |
| ・いじめ防止対策推進委員会 | ・行事検討委員会 |
| ・教育課程検討委員会 | |

2 スクール・ミッション、目指す学校像

磐周地区の地域に密着した全日制普通高校として、校訓「自立・連帯・敬愛」のもと、教科学習だけでなく地域やグローバルについての探究活動やこれからの多様な学びを求める大学進学への対応を通して、生徒自らが主体的に活動し、他者と協働しながら、将来地元地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指す。

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
変化の激しい社会において、自ら主体的に取り組み、他者と協働し、積極的に貢献できる人材の育成を目指し、次の4つの力を育む。 (1)自ら課題を発見し、解決に向けて論理的に思考し判断する力。 (2)科学的な視点で物事を探究し、新たな価値を創造する力。 (3)自らの考えを的確に表現し、他者に向けて発信する力。 (4)健やかな心身と、互いを敬愛し連帯する力。	普通科高校として、共通教科・科目等を中心に多彩な選択科目を配置し、生徒一人ひとりの進路実現にこたえるカリキュラムを編成し実践する。 (1)探究活動を中心とした教科横断的な教育活動と系統的な教科学習をとおして、「主体的で対話的な深い学び」を実践する。 (2)大学・企業・自治体等の外部機関と連携し、課題発見型の探究活動と自身のキャリア形成を実践する。 (3)ICT活用、フィールドワーク、プレゼンテーション、グローバルプログラム等多様な学びを取り入れることで、多様な価値観を理解し、互いに認め合う関係を築く。 (4)学校行事や部活動等を生徒主体で運営することで、生徒の主体性を育み、個々の成長を促す。	確かな基礎学力と高い志があり、粘り強く学び続ける意欲をもった生徒を求める。 (1)大学進学を目標に、確かな基礎学力をもとに、多様な学びに対して主体的に取り組む生徒。 (2)向上心を持ち、社会貢献を目指して努力する生徒。 (3)多様な人々と協働しながら新たな価値観を生み出そうとする生徒。 (4)学校行事や部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱（取組目標）

- ア 生徒の「志」を育てながら、進路実現に向けたきめ細かな進路指導を推進する。
- イ 基礎・基本と自律的学習習慣を身につけるため、予習・復習の習慣と生徒自身の振り返りを奨励する。
- ウ 授業研究、ICT、教育研究の知見、学びの基礎診断等を活用して時代に合った授業改善を推進する。
- エ 部活動、学校行事、HR活動、生徒会活動等をとおして文武バランスの取れた学校生活を送れるようにする。
- オ 挨拶、身だしなみ、言葉遣い、清掃、自律的な生活等の基本的生活習慣の確立をとおして生徒の公共性と自律心を育てる。
- カ 読書、ボランティア活動、地域活動、国際交流、大学連携等をとおして地域や国際社会で活躍できる知見と豊かな人間性を育成する。
- キ 生徒・職員の安全・安心な生活環境を整えるとともに、有用な予算の執行に努める。

ク 業務の効率化と精選に努め、多忙化を解消する。

ケ 保護者、近隣学校、地域との連携を深めるとともに、積極的な情報発信に努める。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価基準 A…目標は達成された。

B…目標はだいたい達成された。

C…目標はあまり達成されなかった。

D…目標は全く達成されなかった。

重点目標はゴシック体で記載

	取組目標	【担当】成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒の「志」を育てながら、進路実現に向けたきめ細かな進路指導を推進する。	【進路研修課】「補講や進路学習は、進路目標達成のために役立っている」と答える生徒70%以上。	生徒アンケートで78.9%	A	教員アンケートでは、「進路及び将来の職業選択に関するキャリア教育が推進されている」86.3%、「本校の進路指導について理解している」92.2%であった。教職員の進路指導に対する共通理解と協力体制が本校の充実した進路指導を支えている。次年度も、進路研修課を中心に全教職員でよりよい進路指導のあり方を検討し、実施していきたい。
		【教務情報課】通知表、成績個票等により自分の学力と課題を把握できた」と答える生徒90%以上。	生徒アンケートで92.1%	A	成績個票では各科目の偏差値推移や偏差値分布が記載されるので、来年度も継続するとともに、迅速な個票返却をする。
		【各学年】1年：「自ら進路について考え、文理選択を行えた」と答える生徒90%以上。 2年：「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒90%以上。 3年：「進路実現に必要な情報を収集し、志望校合格に向けた計画と準備	生徒アンケートで1年生92.0% 2年生87.7% 3年生93.5% 全体91.0%	A	【1年：A】より主体的に進路について考えられるようにしたい。 【2年：B】面談等を丁寧に行い、個に応じた指導を継続する。 【3年：A】個別指導を丁寧に行い、生徒を支援した。

		ができている」と答える生徒90%以上			
		【進路研修課 各教科】 「外部模試等の結果をその後の学習に生かすことができた」と答える生徒が70%以上。 主な模擬試験について事前・事後の指導を行う。	生徒アンケートで72.5%	A	学年全体で受験する全ての模試において、事前事後指導を行った。年度当初、英数国の「実戦問題集」を作成し、事前指導に活用した。また、「合格ライン」を使った目標点数の設定や解き直し、復習問題などの指導を行っていただいた。1つずつの丁寧な指導・支援が生徒の学力向上につながったと感じる。生徒が自信を持ち希望進路を実現できるように、次年度も充実した指導を継続していきたい。
イ	基礎・基本と自律的学習習慣を身につけるため、予習・復習の習慣と生徒自身の振り返りを奨励する。	【各学年 各教科】「自分で計画を立てて目標の家庭学習時間(平日：1・2年2時間/3年4時間、休日1・2年3時間/3年6時間)を確保できた」と答える生徒70%以上。 「学習方法の見直しや改善ができている」と答える生徒70%以上。	生徒アンケートで1年生38.0% 2年生46.4% 3年生77.9% 全 体53.8% 生徒アンケートで1年生56.5% 2年生61.5% 3年生85.7% 全 体67.6%	B	【1年：B】6月の家庭学習時間は平日101分、休日152分、10月は平日66分、休日178分であった。平日の学習のあり方について見直す必要がある。 【2年：B】6月の学習時間時間は平日97分、休日166分、10月は平日90分、休日117分と減少がみられた。定期テストや模試等に向けて、進んで学習に取り組めるよう働きかけていく。 【3年：A】夏季補講には多くの生徒が参加し、学習習慣形成・学習に対する雰囲気醸成の一助となった。一方、1・2年次までの習熟度が重要な教科科目がある。早期より学習習慣を形成させるような指導が依然として必要である。
ウ	授業研究、ICT、教育研究の知見を活用して時	【各教科】「アクティブ・ラーニング(型)、ICT活用など教材・教え方に様々な工夫をしている先生が	生徒アンケートで79.0%	B	【国語：A】生徒が興味を持てる授業や、自身のやる気を引き出す授業をさらに続けたい。 【地公：B】授業進度との兼ね

	代に合った授業改善を推進する。	多い」と答える生徒75%以上。 「積極的に発言できた」と答える生徒70%以上。 「受け身でなく積極的に授業に取り組めた」と答える生徒70%以上。 「授業で扱う内容に興味・関心を深めた」と答える生徒70%以上。	生徒アンケートで65.6% 生徒アンケートで91.1% 生徒アンケートで82.1%	合いもあり講義形式が中心なことが多いが、生徒の発言機会をできる限り作っていききたい。 【数学：A】昨年度よりも向上しているが、きちんと学習に取り組むように継続指導したい。 【英語：A】主体的に取り組む姿勢を大切にしながら、英語の技能を高めていききたい。 【理科：B】積極的な発言以外の目標は達成できた。引き続き、今後も授業内で発表や対話の機会を作っていききたい。 【保体：B】年間計画や種目選択、授業計画を工夫した結果が出たと考える。次年度は積極的に発言できる生徒を増やすために発問の工夫をする。 【家庭：B】積極的に発言できたと答える生徒が目標を下回ったので、来年度、発言の機会を取り入れたグループワーク等の工夫をする。 【情報：A】情報に興味を持ってもらえるような授業を展開したい。
		【進路研修課】「探究の時間は生徒の意識の啓発につながっている」と答える教職員80%以上。 「探究活動をとおして自分の興味や関心を深めたり、広げたりすることができた。」と答える生徒90%以上。 校外での課題発表大会や探究型の研修会に参加する生徒50人以上。	教員アンケートで86.3% 生徒アンケートで73.6% 41人（1/8現在） 自主FWは45件	A デザイン思考を用いた探究活動を始めて3年目になるが、毎年進化してきている。次年度も探究活動の目的や意義を全教職員で共有し、進路指導との連携を密にすることで、生徒の未来を切り拓く探究活動を展開していききたい。

	【国語科】「授業をと おして、文章を的確に読み 取り、場面に応じて自分 の考えを話したり、書い たりする力がついた」と 答える生徒70%以上。	生徒アンケート で87.1%	A	言語を通した活動や、共同的な 活動を通して、力を養うことが できておりさらに工夫を続けたい。
	【地歴公民科】「授業、 課題、定期テストなどを ととして、現代の社会や 歴史について考える力 を身につけることがで きた」と答える生徒70% 以上。	生徒アンケート で88.1%	A	目標数値は達成できたが、昨年 より数値が低くなっているた め、授業やテストの内容を改善 していきたい。
	【数学科】「授業や課題、 定期テスト等をととし て、論理的に考える力が 伸びた。」と答える生徒 70%以上。	生徒アンケート で84.6%	A	目標が達成できたので、来年度 も達成できるようにしたい。
	【英語科】「授業をと おして、読んだり聞いたり した内容を基に、主語と 動詞の整った自分の考 えを伝える英文を書く 力をつけることができた。」と答える生徒70% 以上。	生徒アンケート で80.7%	A	知識技能分野の学習と表現活動 を関連付け、自分の考えを適切 に表現する能力の育成を継続し て行う。
	【理科】「発表や対話を ととして、他の意見を手 掛かりに自分の考えを 広げたり深めたりでき た」と答える生徒が7 0%以上。	生徒アンケート で82.0%	A	全学年で目標を達成できた。今 後も授業内で発表や対話の機会 を作り、幅広い学力を養わせたい。
	【保健体育科】「体育の 授業で知識と実践する 態度を養うことができた」と答える生徒80%以上。	生徒アンケート で91.8%	A	引き続き、生涯にわたってスポ ーツを実践するための知識や態 度を養えるよう、多くのスポー ツに触れられる機会を設定したい。
	【家庭科】授業をととし て、「今の自分の実生活	生徒アンケート で93.6%	B	昨年度より4.5%下がったので、 今後この身に付けた知識を実生

		向上のためにつながる知識や技術が身に付いた」と答える生徒80%以上。			活で使い続けられるように、問いかけを研究したい。
エ	部活動、学校行事、H R 活動、生徒会活動等をととして文武バランスの取れた学校生活を送れるようにする。	【生徒課】県大会出場部活10以上。「2時間以上の勉強と部活動の両立ができています」と答える生徒70%以上。	県大会出場部活：11 生徒アンケートで57.4%	C	「2時間以上の勉強」の確保が課題。部活動顧問に協力してもらい発信したい。
		【生徒課】「学校行事や生徒会活動に積極的に参加している」と答える生徒90%以上。 「学校行事や生徒会活動への取組をととして創造力・企画力・運営力、協働性等が向上した。」と答える生徒70%以上	生徒アンケートで86.1% 生徒アンケートで86.1%	B	今後も継続していく。
オ	挨拶、身だしなみ、言葉遣い、清掃、自律的な生活等の基本的生活習慣の確立をととして生徒の公共性と自律心を育てる。	【生徒課】「頭髪・服装のルールを守っている」と答える生徒95%以上。 「明るい挨拶や場面に応じて言葉遣いができている」と答える生徒85%以上。	生徒アンケートで96.4% 生徒アンケートで93.3%	A	今後も継続していく。
		【生徒課】「一旦停止や並進をしないなどのルールを守って登校している」と答える生徒90%以上。	生徒アンケートで96.3%	A	更なる呼びかけを強化したい。
		【保健厚生課】「清掃時に級友と協力して、担当場所をきれいに清掃できた」と答える生徒80%以上。 「みんなが使うものを大事に使うことができている」と答える生徒が90%以上。	生徒アンケートで96.0% 生徒アンケートで98.1%	A	大掃除の際の、担当外の生徒の役割・居場所が今後の課題である。 ほとんどの生徒が公共の精神を保っていると考えている。

力	読書、ボランティア活動、地域活動、国際交流、大学連携等をととして地域や国際社会で活躍できる知見と豊かな人間性を育成する。	【図書課】図書館の本の貸出冊数が平均3.8冊以上。 「学校図書館は学習活動の充実に役立っている」と答える教職員90%以上。 「学習活動等の学校生活に役立っている」と答える生徒80%以上。	平均貸出冊数 3.15冊 (1/5 現在) 教職員アンケートで84.3% 生徒アンケートで83.4%	B	目標に達することができなかった。図書館の充実に関しては生徒の91%以上があてはまると回答しているのでより興味を持てる本を揃えたり、居心地のいい図書館整備に努めるとともに、授業での図書館の利用を推進するなど、来館者や貸出冊数を増やしていきたい。 また、資料の充実と周知により努めていきたい。
		【進路研修課】国際交流活動プログラムを再構築し、企画・運営する。 校外の国際交流プログラム、留学に関する情報提供を充実させる。	県主催のモンゴルや韓国での交流事業：積極的に応募したが落選。 トビタテ！留学JAPAN静岡県版：2年生1名採用（オーストラリア バスケットボール留学1ヶ月） 「Power in me Program（12/24～26）」：24名参加	A	姉妹校交流がない今年度の「Power in me Program」では、参加生徒は、楽しみながら外国人留学生との英語コミュニケーションに挑戦し、国内にしながらグローバルな経験をした。 1月27日～2月14日にRoseville College（オーストラリア）の生徒2名の短期留学を受け入れる。 次年度の姉妹校交流（4月受入、3月訪問）を円滑に実施したい。
		【管理職】連携大学への研究室訪問に延べ50人以上の生徒が参加する。	静岡理工科大学との交流プログラム@sist（研究室訪問）：84名参加	A	次年度は2回目の日程を中間テスト時に改めて参加人数確保につなげる。

キ	生徒・職員の安全・安心な生活環境を整えとともに、有用な予算の執行に努める。	【総務課 管理職】大規模地震等に対する防災意識が高まり、自分でできることを実践している」と答える生徒が80%以上。 「危機対応時における対応の仕方を理解している」と答える教職員90%以上。	生徒アンケートで85.4% 教員アンケートで86.3%	B	在校時に有事が発生した際、生徒が冷静に適切な避難を行うためには、日頃から、避難経路について十分に理解しておく必要がある。職員が的確な指示をし、生徒が安全に避難ができるよう、防災意識をより高めていきたい。 危機対応の仕方について、職員が目につく所に掲示物等を用意し、周知を図りたい。次年度はマニュアル等の周知をさらに進める。
		【保健厚生課】「心身の健康維持、増進のために積極的に取り組んでいる」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで86.7%	A	心身の状態がなかなか安定せず、欠席・欠課が多い生徒が、規則正しい生活を送れるようになることが今後の課題である。
		【保健厚生課】「悩みがあるときに、学校内外に相談できる人がいる」と答える生徒が75%以上。	生徒アンケートで84.4%	A	各クラスや学年、部活、保健室、相談室などで、生徒とのコミュニケーションが比較的良好にとれていると考えている。
		【事務室】「施設・設備・物品の整備・美化に努めている」と答える教職員、保護者90%以上。	教員アンケートで100% 保護者アンケートで81.6%	B	施設整備は迅速な対応に努めたが、雨漏りなど原因が特定できず、対応が遅れたものがあった。校内美化は技能員が計画的に実施し来校者からも賞賛された。来年度も予算の確保に努める。
		【事務室】「学校の窓口として適正な対応をしている」と答える教職員、保護者、生徒95%以上。	教員アンケートで100% 保護者アンケートで90.6% 生徒アンケートで93.1%	A	生徒アンケート、保護者アンケートで目標に届かなかったが教職員アンケートは目標を達成できた。引き続き、丁寧な対応を心掛けていく。

ク	業務の効率化と精選に努め、多忙化を解消する。	【管理職】「仕事の効率化と業務の見直しが図られ、心身の負担が軽減された」と答える教職員が60%以上。 「必要に応じた休暇が取れる職場環境である」と答える教職員90%以上。	教職員アンケートで68.2% 教職員アンケートで82.4%	B	次年度は今年度同様教職員の意見を反映した業務の見直しを継続して行う。
	ケ	【総務課】「PTA総会、授業参観、地区会等のPTA活動に1回以上参加した」と答える保護者70%以上。	保護者アンケートで78.0%	A	今までの活動内容を見直し保護者の負担を減らしており、今後もPTA活動のスリム化を実現し、持続可能なPTA活動のあり方を検討していく。
		【総務課】「教育方針や学校生活の様子及び諸情報がよく伝わっている」と答える保護者80%以上。 ホームページ更新を月20回以上。	保護者アンケートで67.4% 月平均15回	B	ホームページ更新を行い、学校の様子を発信してきた。発信内容について、多様な意見を取り入れ、より見やすく分かりやすいものにしていきたい。
		【総務課 管理職】 「一日体験入学に満足した」中学生が60%以上。中学生の一日体験入学参加が750人以上、公開授業が200人以上。	99.5%の中学生が満足と回答。 一日体験入学参加者：980人(生徒648人 保護者332人) 公開授業参加者：306人(生徒216人 保護者90人)	A	来年度に向け、アンケート内容等を参考に内容を検討していきたい。

(2) 令和7年度の実行目標・達成方法・成果目標

	実行目標	達成方法（実行手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒の「志」を育てながら、進路実現に向けたきめ細かな進路指導を推進する。	補講や進路学習・進路講演会を実施し、生徒が進路実現に向けた目標設定と学習ができるよう支援する。	「補講や進路学習・進路講演会は、進路目標達成のために役立っている」と答える生徒70%以上。	進路研修課

	る。	生徒が自分の学力を的確に把握するための評価を行い、個票等を迅速に提供する。	「通知表、成績個票等により自分の学力と課題を把握できた」と答える生徒90%以上。	教務課
		1年：自分の進路を見据えた主体的な文理選択を行う。 2年：大学進学を見据え、HR活動、集会、面談、オープンキャンパスなどを活用した進路選択を行う。 3年：生徒が進路実現に必要な準備と実践ができるように個々の志望に合わせた情報提供と助言を行う。	1年：「自ら進路について考え、文理選択を行えた」と答える生徒90%以上。 2年：「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒90%以上。 3年：「進路実現に必要な情報を収集し、志望校合格に向けた計画と準備ができている」と答える生徒90%以上。	各学年
		生徒が模擬試験、学びの基礎診断等を活用して自分の学力を的確に把握し、自ら学習方法の改善に努めることができるようになる。 各教科で模擬試験の事前・事後指導を実施する。	「外部模試等の結果をその後の学習に生かすことができた」と答える生徒が70%以上。 主な模擬試験について事前・事後の指導を行う。	進路研修課 各教科
イ	基礎・基本と自律的学習習慣を身につけるため、予習・復習の習慣と生徒自身の振り返りを奨励する。	学年段階に応じた適切な授業実践と家庭学習課題提供をとおり、生徒の自学自習の習慣化を目指す。	「自分で計画を立てて目標の家庭学習時間(平日：1・2年2時間/3年4時間、休日1・2年3時間/3年6時間)を確保できた」と答える生徒70%以上。 「学習方法の見直しや改善ができている」と答える生徒70%以上	各学年 各教科
ウ	授業研究、ICT、教育研究の知見を活用して時代に合った授業改善を推進する。	教職員の授業研究をとおり、アクティブ・ラーニング型授業、ICT、振り返りを活用した授業を実践するとともに、生徒が自らの意見を発表する機会設定するよう工夫する。	「アクティブ・ラーニング型授業、ICT活用、振り返りなど教材・教え方に様々な工夫をしている先生が多い」と答える生徒75%以上。 「積極的に発言できた」と答える生徒70%以上。 「受け身でなく積極的に授業に取り組めた」と答える生徒70%以上。 「授業で扱う内容に興味・関心を深めた」と答える生徒70%以上。	各教科

		課題発見型・デザイン思考の探究活動をととして生徒が主体的に考え、社会をまなざし、情報発信できるようになる。	「探究の時間は生徒の意識の啓発につながっている」と答える教職員80%以上。 「探究活動をととして自分の興味や関心を深めたり、広げたりすることができた。」と答える生徒90%以上。 校外での課題発表大会や探究型の研修会に参加する生徒50人以上。	進路研修課
工	部活動、学校行事、HR活動、生徒会活動等をととして文武バランスの取れた学校生活を送れるようにする。	部活動に主体的に取り組む環境を整えるとともに、午後7時30分完全下校を徹底し、家庭学習時間を確保する。	県大会出場部活7以上。 「19時30分までに完全下校した」と答える部活動95%以上。	生徒課
		学校行事や生徒会活動への取組をととして生徒の主体性、創造力・企画力・運営力、協働性を育む。	「部活動、生徒会活動、探究活動、学校外の各種活動に積極的に取り組んだ」と答える生徒が80%以上。 「学校行事や生徒会活動への取組をととして創造力・企画力・運営力、協働性等が向上した」と答える生徒70%以上。	
オ	挨拶、身だしなみ、言葉遣い、清掃、自律的な生活等の基本的生活習慣の確立をととして生徒の公共性と自律心を育てる。	日常指導、HR活動、面談、集会などを通じて規範意識、挨拶の励行、適切な言葉遣いなどの社会性を身につけさせる。	「頭髪・服装のルールを守っている」と答える生徒95%以上。 「明るい挨拶や場面に応じて言葉遣いができている」と答える生徒85%以上。	生徒課
		並進、一旦停止義務違反の撲滅を安全教室や交通指導をととして重点的に指導する。	「一旦停止無視や並進をしないなどのルールを守って登校している」と答える生徒90%以上。	
		ポスター掲示、清掃重点箇所の提示や委員会による清掃点検を定期的実施し、委員会が中心となり美化意識を高める。	「清掃時に級友と協力して、担当場所をきれいに清掃できた」と答える生徒80%以上。 「みんなが使うものを大事に使うことができている」と答える生徒が90%以上。	保健厚生課

力	読書、ボランティア活動、地域活動、国際交流、大学連携等をとおして地域や国際社会で活躍できる知見と豊かな人間性を育成する。	朝読書やオリエンテーションの実施、読書ノートの利用により読書指導を推進する。広報活動や図書委員会活動を充実させ来館者数を増やす。	図書館の本の貸出冊数が平均3.8冊以上。 「学校図書館は学習活動の充実に役立っている」と答える教職員90%以上、「学習活動等の学校生活に役立っている」と答える生徒80%以上。	図書課
		グローバル社会にふさわしい国際交流活動を計画・実践する。	国際交流活動プログラムを企画・運営する。 校外の国際交流プログラム、留学に関する情報提供を充実させる。	進路研修課
		袋井市との連携協定に基づく各種活動や連携大学への研究室訪問等を推進する。	連携大学への研究室訪問に延べ50人以上の生徒が参加する。	管理職
キ	生徒・職員の安全・安心な生活環境を整えとともに、有用な予算の執行に努める。	実践的な防災訓練や防災学習の実施等により、生徒・職員の防災意識をより高める工夫をする。 「危機管理マニュアル」「防災計画」を適宜改定し、各自の役割や対応が合理的に割り振られている。	大規模地震等に対する防災意識が高まり、自分でできることを実践している」と答える生徒が80%以上。 「危機対応時における対応の仕方を理解している」と答える教職員90%以上。	総務課 管理職
		「こころの健康調査」「朝の健康観察」「保健室だより」等を通して、心身の健康増進に取り組み、職員との連携・情報の共有を図る。	「心身の健康維持、増進のために積極的に取り組んでいる」と答える生徒が80%以上。	保健厚生課
		落ち着いた学校生活・友人関係構築に向けた教育相談や特別支援の体制を作る。	「悩みがあるときに、学校内外に相談できる人がいる」と答える生徒が75%以上。	
		施設・設備・物品の整備についていち早く危険箇所や不具合を発見・対応するとともに、環境整備や美化に努める。	「施設・設備・物品の整備・美化に努めている」と答える教職員、保護者90%以上。	事務室
		学校の窓口として、常に丁寧な対応を心掛け、来客や外部からの問い合わせ等に速やかに対応する。	「学校の窓口として適正な対応をしている」と答える教職員、保護者、生徒90%以上。	

ク	業務の効率化と精選に努め、多忙化を解消する。	校内管理システムの運用を職員に徹底させ、仕事の効率化を図るとともに、業務を見直し多忙化解消を図り、休暇の取りやすい職場環境を整える。	「仕事の効率化と業務の見直しが図られ、心身の負担が軽減された」と答える教職員が60%以上。 「必要に応じた休暇が取れる職場環境である」と答える教職員90%以上。	管理職
ケ	保護者、近隣学校、地域との連携を深めるとともに、積極的な情報発信に努める。	P T A活動を見直し、持続可能な活動にする。	「本校のP T A活動が適宜見直され時代に合ったものになっている」と答える保護者80%以上。	総務課
		情報発信・わかりやすい学校行事案内の作成に努める。	「教育方針や学校生活の様子及び諸情報がよく伝わっている」と答える保護者80%以上。 ホームページに加えて、SNSによる発信も検討する。	
		中学生一日体験入学、公開授業の円滑な運営を行う。	「一日体験入学に満足した」中学生が70%以上。中学生の一日体験入学参加が750人以上、公開授業参加が200人以上。	総務課 管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和6年度	5月31日(金)及び6月1日(土)の2日間、文化祭(緑風祭)を開催した。すべての制限を取り払った形で開催し、袋井愛野両駅からのシャトルバスも利用して1800名の方が来校され、たいへん盛況の文化祭となった。	多くの来場者を迎えることができて、生徒たちにとって充実した文化祭となった。急激な来校人数の増加を見込んで模擬店に加えてキッチンカーに3台出店してもらったが、来校者に対しての食事の保証はぎりぎりであった等の問題もあったが、文化部やクラスの発表を通じて中学生に本校の魅力を伝えることができた。
	袋井市との連携協定に基づき、袋井市の高校生学術交流事業「研究室訪問@SIST」の第1回を6月28日(金)に開催した。36名が、静岡理科大学(SIST)の研究室を訪問し、昨年よりも長めの1時間20分程度大学の学生及び教員からその研究室での研究内容の紹介や実験を経験させていただいた。時間が増えた分生徒たちの感想は昨年よりもさらに良好で、今後の進路決定の一助となったと考えられる。11月22日(金)に第2回を開催した。48名が参加した。	過去2年に続き、静岡理科大学と袋井市に御協力いただき実現した事業で、部活動との兼ね合いから昨年より参加者は減ったものの、3年生の参加もあった。昨年のアンケート結果等から、研究室訪問の時間や事前レクチャーの内容等が改善されており、いっそう意味のある行事となった。昨年同様、今後は、総合的な探究の時間での取組とも関連させながら、さらに充実したものにしていきたいと考えている。

令和7年度	5月30日(金)及び31日(土)の2日間、文化祭(緑風祭)を開催した。令和6年度からすべての制限を取り払った形で開催し、袋井愛野両駅からのシャトルバスも利用して1860名の方が来校され、盛況の文化祭となった。	昨年度同様多くの来場者を迎えることができ、生徒たちにとって充実した文化祭となった。キッチンカーの出店は、来校者に対しての食事の保証として有効であったが、混雑や文化部の活動場所との兼ね合い等問題もあった。中学生からは文化部やクラスの発表に対して好意的な意見が寄せられた。
	袋井市との連携協定に基づき、袋井市の高校生学術交流事業「次世代人材育成・交流プログラム@SIST」の第1回を6月27日(金)に開催した。本校68名が、静岡理科大学(SIST)の研究室を訪問し、1時間20分程度大学の学生及び教員から研究室での研究内容の紹介や実験を経験させていただいた。昨年から時期を早めた10月に第2回の開催を予定している。	静岡理科大学と袋井市との連携の上実現した事業で、一昨年のアンケート結果等から、研究室訪問の時間や事前レクチャーの内容等が改善した成果もあって、参加した生徒からは進路決定の参考になった等の前向きな意見が寄せられた。今後は、総合探究講座での取組とも関連させながら、さらに充実したものにしていきたいと考えている。

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

区分	職名	教育職員						行政職員					臨時・会計年度任用職員							小計	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計	教諭（任）	教諭（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員			
	転出者			1	5			6			1								0	7	
	退職者	1			3			4				0				1	1		2	6	
	再任用（退職）							0				0							0	0	
	転入者	1		1	3			5			1	1							0	6	
	新任者				2			2				0				1	1		2	4	
	再任用（新任）				1			1				0							0	1	
	差引増減	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	

(2) 現 員 数 (令和7年7月31日現在)

(単位：人)

職名	教育職員						小計	行政職員				小計	臨時・会計年度任用職員						小計	合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手		事務長	主査	主事	教諭（任）		教諭（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員			
人数	1	1	1	43	1	1	48	1	2	1	4	0	0	1	5	1	3	10	62	

再任用教諭：週 38 時間 45 分 2 人、 週 19 時間 25 分 5 人

(3) 健康管理について

教職員の身体的、精神的な健康の維持増進を図るため、次のような措置を講じている。

- ・ 定期健康診断を積極的に受診させ、疾病の早期発見、早期治療に努めている。
- ・ 健康管理医や職員安全衛生委員会を通じて、心身の健康及び日常の自己の健康管理について注意を喚起している。健康管理医は、個別指導として日頃の心配事等を含めた健康相談を希望者対象に実施する。
- ・ 勤務時間外に業務に従事した時間の合計が80時間を超えた職員に対し、「過重労働による健康障害防止のための自己チェック」を推奨し、必要な場合には健康管理医の面接指導を行う。
- ・ 体調不良を感じる職員への早期サポート、休養スペースの確保。
- ・ 環境検査
 - 室内の換気（二酸化炭素）と照度検査、水質検査、温度・湿度・暑さ指数（WBGT）の測定
- ・ 危機管理対応
 - エピペン実習講習、救急法講習
- ・ インフルエンザ予防接種
 - 教職員希望者対象に実施

(4) 教職員の研修について

令和6年度

研修の目的	内 容	成 果・課 題
進路指導力の向上 ・ 生徒の「志」を育て、その実現に伴走する進路指導の推進	・ 進路結果研修会 4月 ・ ステイヤーサポート報告会 4、5月 ・ 学年別進路研修会 8月 ・ 3年進路検討会 8、11、1月 ・ 大学視察 8月 群馬大学、鳥取大学等5大学 ・ 各種セミナーへの参加	・ 大学入試問題や入試情報の分析 ・ 大学入試改革に対応できる教職員の育成
授業力の向上	・ 定期訪問 6月 ・ 校内研修 ・ 年次研修対象教員による報告	・ 指導主事による定期訪問時に公開授業を実施し、外部講師による進路指導先進校に関する講義を受けた。
不祥事の根絶、人権意識の高揚	・ 自己チェックシートを活用したコンプライアンス研修 ・ コンプライアンス通信の周知 ・ 人権教育の手引きを用いた研修 ・ 情報セキュリティ研修 4月	・ 不祥事を他人事と思わず自分事と捉える雰囲気醸成。 ・ 情報資産の基本事項の確認及び個人情報漏洩事例の学習。
円滑な学校運営	・ AED設置個所の確認 4月 ・ エピペン実習講習 4月 ・ 救急法講習 12月	緊急時の対応や器具の取扱いを学習した。

令和7年度

研修の目的	内 容	成 果・課 題
進路指導力の向上 ・生徒の「志」を育て、 その実現に伴走する進 路指導の推進	・進路結果研修会 4月 ・ステイタート報告会 4、5月 ・学年別進路研修会 8月 ・3年進路検討会 8、11、1月 ・探究先進校視察 9月（予定） ・大学視察 8月 北海道大、九州大等8大学 ・各種セミナーへの参加 ・小論文指導研修会	・大学入試問題や入試情報の分析。 ・大学入試改革に対応できる教職員の育成。
授業力の向上	・定期訪問 10月 ・校内研修（公開授業） ・年次研修対象教員による報告	・指導主事による定期訪問時に公開授業を実施し、外部講師による小論文指導の講義を受ける予定。
不祥事の根絶、人権意識の高揚	・自己チェックシートを活用したコンプライアンス研修 ・コンプライアンス通信の周知 ・人権教育の手引きを用いた研修 ・情報セキュリティ研修 4月	・不祥事防止のために職員の同僚性を高めていける雰囲気醸成。 ・情報資産の基本事項の確認及び宛先や保存先に注意する事や個人情報漏洩事例の学習。
円滑な学校運営	・AED設置個所の確認 4月 ・エピペン実習講習 4月 ・救急法講習 12月（予定）	緊急時の対応や器具の取扱いを学習する。

6 防災対策について

大規模地震を想定した抜き打ち避難訓練や被害予想・防災施設等の調べ学習・講師を招聘した地震情報交換学習を実施し、災害発生時に学校・通学路及び家庭において生命・身体・財産を守る手立てを考えさせ、生徒の防災意識を高め、危機管理能力を育てる。

令和6年度

月	内 容	成 果・課 題
4月	・新入生防災用品の購入 ・防災計画、危機管理マニュアルの改訂	
5月	・第1回防災訓練 避難経路の確認 HR毎、地区毎の点呼 警報発令時、下校・学校に残留するかの確認	大規模地震を想定した避難訓練を実施し、避難経路を確認した。また、在校時地震発生した場合の人員把握を行った。

11 月	・ 第 2 回避難訓練 避難訓練を兼ねて体育館に移動 能登半島地震災害に関する講話	災害時における適切な行動選択について理解する。 地震災害の基礎知識 自助、共助の重要性 災害時における高校生の役割 家庭内対策について講師の話から、必要な知識を得た。
9 月 12 月	地域防災訓練への参加	9 月、12 月の地域防災訓練に生徒 309 名が参加した。

令和 7 年度

月	内 容	成 果・課 題
4 月	・ 新入生防災用品の購入 ・ 防災計画、危機管理マニュアルの改訂 ・ 事故発生時における初動救急体制のリーフレットを作成し、必要箇所を設置した。	・ 新入生の防災用品を、持ち運びしやすいリュック型に変更した。 ・ 事故発生時の対応を全教職員で共有できた。
5 月	・ 第 1 回防災訓練 避難経路の確認 H R 毎、地区毎の点呼	大規模地震を想定した避難訓練を実施し、避難経路を確認した。
11 月	・ 第 2 回避難訓練（予定）	
10 月 12 月	地域防災訓練への参加（予定）	

7 学校開放について

学校開放委員会を設置し、学校開放に努めている。

年度	利用施設	利用内容	利用日数	延参加人数	備考
					利用者負担金（光熱水費実費）：円
6	体育館	バスケットボール	2	14	1,057
	武道場	ブラジリアン柔術	104	575	9,583
7 (7/31現在)	体育館	バスケットボール	4	30	2,112
	武道場	ブラジリアン柔術	35	296	2,768
		キックボクシング	2	16	151

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第 1 条、第 2 条） 学校教育法（第 50 条、第 51 条、第 52 条、第 56 条、第 57 条、第 62 条） 産業教育振興法（第 18 条） 理科教育振興法（第 11 条） 産業教育振興法施行令 理科教育振興法施行令 学校教育法施行規則 高等学校学習指導要領 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 静岡県立学校処務規程 高等学校修学旅行に関する基準 高等学校集団宿泊研修に関する基準
2 学校の管理・運営に関すること	教育基本法（第 4 条） 学校教育法（第 12 条、第 60 条、第 137 条） 学校保健安全法（第 5 条、第 15 条、第 27 条） 学校図書館法（第 3 条、第 4 条、第 5 条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条、第 17 条） 社会教育法（第 43 条、第 45 条、第 47 条、第 48 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 23 条、第 33 条） 教育公務員特例法 （第 14 条、第 17 条、第 18 条、第 21 条、第 22 条、第 23 条、第 24 条） 地方公務員法（第 6 節、第 7 節） 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律 学校保健安全法施行令 教育公務員特例法施行令 高等学校設置基準 高等学校学習指導要領 静岡県立学校設置条例 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校管理規則 静岡県立高等学校学則 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県立学校処務規程 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 いじめ防止対策推進法

学 校 施 設 の 概 要

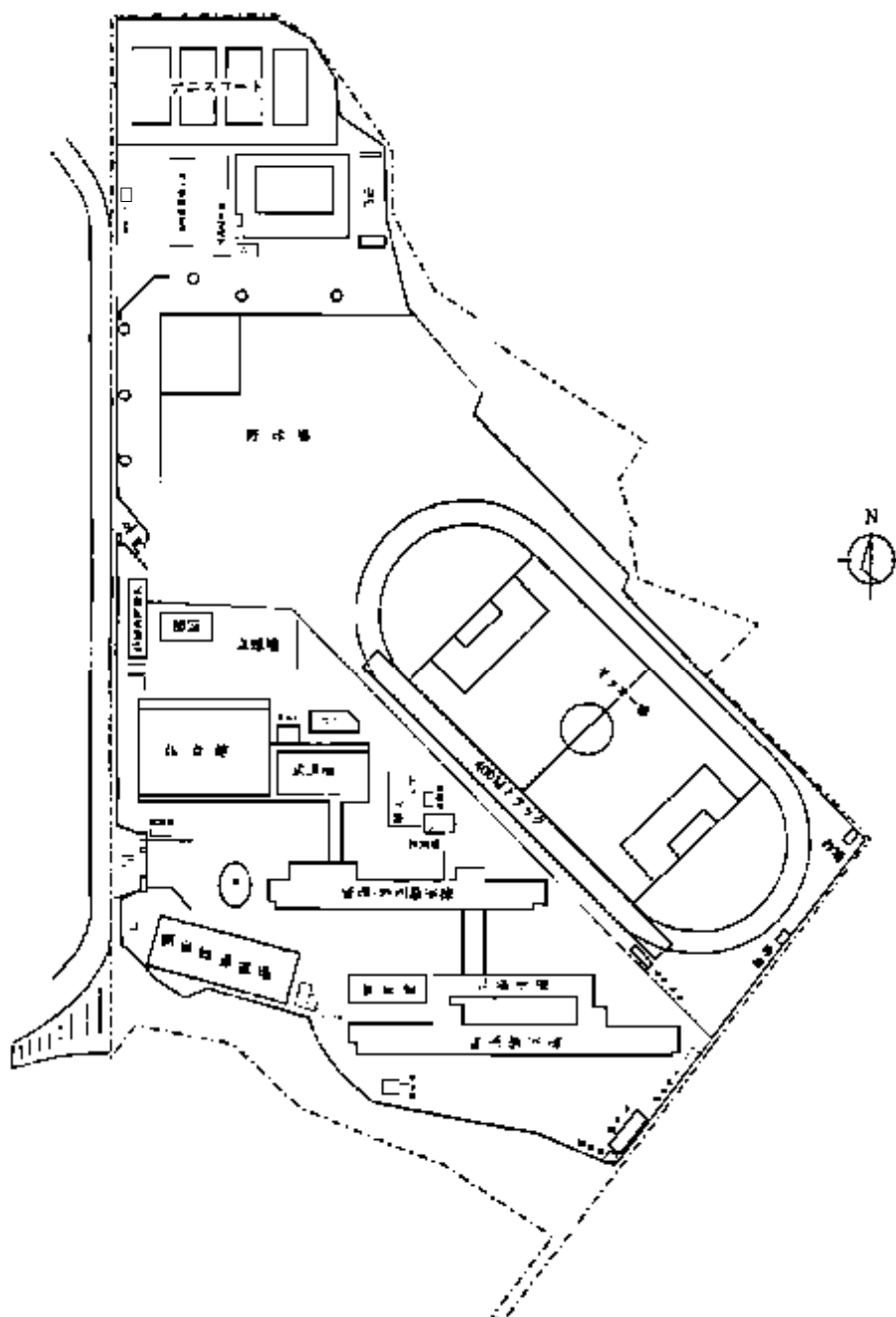
1 面積及び所有区分

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

区 分		面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
			県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地		63,361.82	63,361.82					
内 訳	校 舎 敷 地	24,720.57	24,720.57					
	運 動 場 敷 地	31,364.16	31,364.16					
	その他の敷地	7,277.09	7,277.09					
校 舎		<u>建</u> 3,341.99 延8,261.06	<u>3,341.99</u> 8,261.06					
体 育 館		<u>建</u> 1,425.80 延1,368.76	<u>1,425.80</u> 1,368.76					
武 道 場		<u>建</u> 693.00 延 567.00	<u>693.00</u> 567.00					
その他の建物		<u>建</u> 2,380.99 延2,377.09	<u>1,825.27</u> 1,821.37			<u>555.72</u> 555.72		
生 活 館		<u>建</u> 202.65 延 599.04	<u>202.65</u> 599.04					
プ ー ル		400	400					25m × 16m 8コース
職 員 住 宅		1戸	1戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	63,361.82㎡	8,261.06㎡	31,364.16㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

在 籍 生 徒 調

(令和 7 年 7 月31日現在)

学年	学科別		普 通 科			
	区 分		定 員	男 子	女 子	計
1 年	入 学 者		240	131	121	252
		増 加				
		減 少		1	1	2
	現 在			130	120	250
2 年	入 学 者		240	128	124	252
		増 加				
		減 少		4	2	6
	2 年時当初			124	122	246
		増 加				
		減 少		2		2
	現 在			122	122	244
3 年	入 学 者		280	157	130	287
		増 加				
		減 少		7	1	8
	2 年時当初			150	129	279
		増 加		(1)		(1)
		減 少		5	2	7
	3 年時当初			146	127	273
		増 加				
		減 少				
	現 在			146	127	273
合 計				398	369	767

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		280	280	280	240	240
募集者数 (B)		280	280	280	240	240
志願者数	男	125 (7)	152 (3)	158 (3)	141	144
	女	107 (8)	122 (2)	132 (2)	130	125
	計(C)	232 (15)	274 (5)	290 (5)	271	269
受検者数	男	125 (7)	149 (3)	158	141	144
	女	107 (8)	122 (2)	132	130	125
	計(D)	232 (15)	271 (5)	290	271	269
合格者数	男	125 (7)	149 (3)	157	128	131
	女	107 (8)	120 (2)	130	124	121
	計(E)	232 (15)	269 (5)	287	252	252
志願倍率 (C)/(B)		0.83	0.98	1.04	1.13	1.12
受検倍率 (D)/(B)		0.83	0.97	1.04	1.13	1.12
入学者数	男	132	152	157	128	131
	女	115	122	130	124	121
	計(F)	247	274	287	252	252
充 足 率 (F)/(A)		0.88	0.98	1.03	1.05	1.05

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別			普 通 科		
年 度			令和４年度	令和５年度	令和６年度
卒業生徒数			278	237	258
内 訳	（ 進学志願者 ）		(261)	(236)	(257)
	進学者	大学・短大	254	215	227
		専修・各種学校等	19	13	22
		小 計	273	228	249
	就 職 者		0	0	1
	自 営 者		0	1	0
	進学準備者		5	8	8
	そ の 他		0	0	0
合 計			278	237	258

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	0	1	1
求人数	89	91	-
求人倍率			

3 資格取得状況

(令和6年度)

学科別	普 通 科
卒業生徒数	258人
資格の取得状況(種類別)	
合 計	0人

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	袋井市	磐田市	掛川市	森町	菊川市	その他	合計
生徒数	268	211	195	30	58	5	767
構成比%	34.9%	27.5%	25.4%	3.9%	7.6%	0.7%	100%

(2) 通学方法

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	自転車 JR 徒歩	自転車 JR 自転車	自転車 JR バス	徒歩 JR 徒歩	徒歩 JR 自転車	徒歩 JR バス	バス JR 徒歩	バス JR 自転車	バス JR バス	バス 徒歩	その他	合計
生徒数	17	383	13	219	1	2	41	3	1	10	1	2	74	767
構成比%	2.2%	49.9%	1.7%	28.6%	0.1%	0.3%	5.3%	0.4%	0.1%	1.3%	0.1%	0.3%	9.6%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		15	11		26
男子	1 年	100	30	0	130
	2 年	83	28	11	122
	3 年	88	42	16	146
	計(A)	271	100	27	398
	構成比	68.1%	25.1%	6.8%	100%
女子	1 年	52	67	1	120
	2 年	48	71	3	122
	3 年	53	55	19	127
	計(B)	153	193	23	369
	構成比	41.5%	52.3%	6.2%	100%
合計	(A+B)	424	293	50	767
	構成比	55.3%	38.2%	6.5%	100%

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期別	月別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後	収入	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率	収納額	未済額	
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A . 期首収納権利発生額 = 7,276,500円 1年: 87人 × 9,900 × 3月 = 2,583,900円 2年: 79人 × 9,900 × 3月 = 2,346,300円 3年: 79人 × 9,900 × 3月 = 2,346,300円 B . 収納権利増減(▲)額 = 0円 C . 収納必要額 A(±)B = 7,276,500円
	5													
	6													
	7	87	2,583,900	79	2,346,300	79	2,346,300	245	7,276,500	7,276,500	100.00%			
	8													
	計	87	2,583,900	79	2,346,300	79	2,346,300	245	7,276,500	7,276,500		0	0	
二期	7													A . 期首収納権利発生額 = 12,503,700円 1年: 94人 × 9,900 × 5月 = 4,653,000円 2年: 77人 × 9,900 × 5月 = 3,811,500円 1人 × 9,900 × 3月 = 29,700円 3年: 81人 × 9,900 × 5月 = 4,009,500円 B . 収納権利増減(▲)額 = ▲79,200円 2年: 1人 × 9,900 × 1月 = ▲9,900円 3年: 1人 × 9,900 × 2月 = ▲19,800円 1人 × 9,900 × 5月 = ▲49,500円 C . 収納必要額 A(±)B = 12,424,500円
	8													
	9													
	10	94	4,653,000	1 77	29,700 3,811,500	1 81	29,700 4,009,500	1 252	29,700 12,474,000	29,700 12,127,500	97.22%	0	346,500	
	11			▲ 1	▲ 9,900	▲ 2	▲ 69,300	▲ 3	▲ 79,200	▲ 79,200		346,500	0	
	計	94	4,653,000	77	3,831,300	79	3,940,200	250	12,424,500	12,078,000		346,500	0	
三期	12													A . 期首収納権利発生額 = 9,820,800円 1年: 94人 × 9,900 × 4月 = 3,722,400円 2年: 75人 × 9,900 × 4月 = 2,970,000円 3年: 79人 × 9,900 × 4月 = 3,128,400円 B . 収納権利増減(▲)額 = 0円 C . 収納必要額 A(±)B = 9,820,800円
	1	94	3,722,400	75	2,970,000	79	3,128,400	248	9,820,800	9,662,400	98.38%		158,400	
	2							0	0			158,400	0	
	3												0	
	計	94	3,722,400	75	2,970,000	79	3,128,400	248	9,820,800	9,662,400		158,400	0	
合計		275	10,959,300	231	9,147,600	237	9,414,900	743	29,521,800	29,016,900		504,900	0	D . 収納必要額 = 29,521,800円

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

期別	月別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
		1年		2年		3年		計		納期内収納額		納期後	収入	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率	収納額	未済額	
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A . 期首収納権利発生額 = 59,400円 1年: 1人 × 9,900 × 3月 = 29,700円 2年: 1人 × 9,900 × 3月 = 29,700円 B . 収納権利増減 (▲) 額 = 0円 C . 収納必要額 A (±) B = 59,400円
	5													
	6													
	7	1	29,700	1	29,700	0	0	2	59,400	59,400	100.00%			
	8													
	計	1	29,700	1	29,700	0	0	2	59,400	59,400		0	0	
二 期	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
	計													
三 期	12													
	1													
	2													
	3													
	計													
合計		1	29,700	1	29,700	0	0	2	59,400	59,400		0	0	D . 収納必要額 = 59,400円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 7 月 31 日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料（全日制）	165	0

預 金 調

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残 高(円)	摘 要
静岡銀行 袋井支店	無利息型 普通預金	□□□	静岡県立袋井高等学校 資金前渡者 校長 藤村 寿一	0	給与振入口座
静岡銀行 袋井支店	無利息型 普通預金	□□□	(自振口)静岡県立袋井高等学校 資金前渡者 校長 藤村 寿一	0	公共料金等 自動振替口座
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和 7 年 7 月 31 日現在)

(単位 : 枚、円)

区分	種類	6 年 度						7 年 度								摘要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	1 円 券	3	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	3	業務 連絡用
郵券	10 円 券	1	10	10	100	1	10	10	100	0	0	0	0	10	100	
郵券	26 円 券	0	0	10	260	1	26	9	234	0	0	5	130	4	104	"
郵券	30 円 券	0	0	10	300	0	0	10	300	0	0	0	0	10	300	"
郵券	63 円 券	2	126	0	0	0	0	2	126	0	0	0	0	2	126	"
郵券	84 円 券	10	840	10	840	11	924	9	756	0	0	5	420	4	336	"
郵券	120 円 券	8	960	0	0	1	120	7	840	0	0	0	0	7	840	"
郵券	140 円 券	10	1,400	0	0	2	280	8	1,120	0	0	0	0	8	1,120	"
計			3,339		1,500		1,360		3,479		0		550		2,929	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、 5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		880,000	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,227,237	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		417,560	
計					1,624,953	2,524,797	0
(14) 工 事 請 負 費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		7,040,000	
計					3,938,000	7,040,000	0
(16) 公有財産 購 入 費							
計					0	0	0
(17) 備 品 購 入 費							
計					149,800	0	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		63,637,400	
計					64,556,000	63,637,400	0
(21) 補償、補填及 び賠償費							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般 一般	教育費 教育費	高等学校費 特別支援学校費	高等学校管理費 特別支援学校管理費	122,188 41,800	
計					163,988	0
(14) 工 事 請 負 費						
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費						
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費						
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	15,386,700	
計					15,386,700	0
(21) 補償、補填及 び賠償金						
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支 出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト(株)	円 942,480	円 942,480	円 68,310	円 1,010,790	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.6.28 6.8.30 6.10.31 6.12.26 7.2.28 7.4.30 小計	円 157,080 164,670 172,260 172,260 172,260 172,260 1,010,790	電気工作物に対する保安上の点検業務 月次又は隔月点検 年次点検年12回	随契1号(少額) 袋井商業・袋井特支
2	防鼠防虫業務委託	(株)帝装化成 掛川営業所	539,000	539,000	0	539,000	随契	6.4.5 ～ 7.3.31	6.10.28 7.4.30 小計	269,500 269,500 539,000	薬剤散布 年2回 点検生息調査 年12回	随契1号(少額) 磐田南・磐田西・磐田農業・一言農場・袋井特支
3	容器包装プラスチック収集運搬処分業務委託	(株)袋井清掃	運搬料1回7,700円 処分料1kg33.0円	運搬料1回7,700円 処分料1kg33.0円	0	運搬料1回7,700円 処分料1kg33.0円	随契	6.4.15 ～ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	7,931 8,063 8,294 7,997 7,799 7,898 7,799 7,766 7,931 7,898 7,799 7,832 95,007	不燃物収集運搬処分業務 年12回	随契1号(少額) 単価契約
4	体育館及び武道場定期点検外壁全面打診調査業務委託	(株)エコー総合設計	891,000	880,000	0	880,000	随契	6.9.20 ～ 7.1.31	7.2.5	880,000	体育館及び武道場の外壁全面打診調査	随契1号(少額)
	事務関係計	4件								2,524,797		
	合 計	4件								2,524,797		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支 出年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検協同組合	円	円 9,251,000	円 0	円 9,251,000		6.4.1 ～ 7.3.31			消防設備保守点検 機器点検年2回 総合点検年1回	磐田農業高校
参考2	浄化槽保守点検業務委託	(株)フクエイ	円	2,407,680	0	2,407,680		6.4.1 ～ 7.3.31			浄化槽保守点検 400人槽年52回 30人槽年4回 21人槽年4回	袋井商業高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務委託	(有)小久江清掃	円	運搬料1回4,400円 処分料1kg16.3円	0	運搬料1回4,400円 処分料1kg16.3円		6.4.8 ～ 7.3.28			可燃物収集運搬処分業務 年91回	袋井商業高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務委託	(有)山静商会	円	429,000	0	429,000		6.4.12 ～ 6.11.29			プール浄化装置保守点検業務 始業前点検1回 終了点検1回	磐田西高校
参考5	警備業務委託	総合警備保障(株)静岡支社	円	17,166,600	0	17,166,600		1.10.1 ～ 6.9.30			機械警備業務 侵入、火災の監視	磐田南高校
参考6	警備業務委託	総合警備保障(株)静岡支社	円	13,602,600	0	13,602,600		6.10.1 ～ 11.9.30			機械警備業務 侵入、火災の監視	磐田南高校
参考7	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	(有)コーセイ産業	円	3,063,390	0	3,063,390		6.11.1 ～ 7.2.28			建築基準法第12条にかかる定期点検	磐田農業高校
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 自家用電気 工作物保安 管理業務委 託	遠鉄ア シスト (株)	円 1,054,680	円 842,160	円 0	円 842,160	一般	7.4.1 ～ 8.3.31	6.6.30	円 140,360	電気工作物に対す る保安上の点検業 務 月次又は隔月点検 年次点検年12回	袋井商業・ 袋井特支
2	防鼠防虫業 務委託	(株)帝装 化成 掛川営 業所	539,000	539,000	0	539,000	随契	7.4.8 ～ 8.3.31			薬剤散布 年2回 点検生息調査 年12回	随契1号(少額) 磐田南・磐田 西・磐田農業・ 一言農場・袋井 特支
3	容器包装 プラスチック 収集運搬 処分業務委 託	(株)袋井 清掃	運搬料1回 7,700円 処分料1kg 33.0円	運搬料1回 7,700円 処分料1kg 33.0円	0	運搬料1回 7,700円 処分料1kg 33.0円	随契	7.4.14 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30 7.7.31 小計	7,865 7,799 7,964 23,628	不燃物収集運搬処 分業務 年12回	随契1号 (少額) 単価契約
	事務関係計	3件								163,988		
	合 計	3件								163,988		

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	消防用設備等 保守点検業務 委託	静岡県消 防設備 保守点検 協同組合	円	円 9,332,500	円 0	円 9,332,500		7.4.1 ～ 8.3.31			消防設備保守点検 機器点検年2回 総合点検年1回	磐田農業高校
参考 2	浄化槽保守点 検業務委託	(株)フクエ イ	円	2,442,660	0	2,442,660		7.4.1 ～ 8.3.31			浄化槽保守点検 400人槽年52回 30人槽年4回 21人槽年4回	袋井商業高校
参考 3	可燃物収集運 搬処分業務委 託	(有)小久江 清掃	円	運搬料1回 4,400円 処分料1kg 16.3円	0	運搬料1回 4,400円 処分料1kg 16.3円		7.4.7 ～ 8.3.27			可燃物収集運搬処 分業務 年91回	袋井商業高校
参考 4	プール浄化装 置保守点検業 務委託	(有)山静商 会	円	467,500	0	467,500		7.4.11 ～ 7.11.28			プール浄化装置保 守点検業務 始業前点検1回 終了点検1回	磐田西高校
参考 5	警備業務委託	総合警備 保障(株) 静岡支社	円	13,602,600	0	13,602,600		6.10.1 ～ 11.9.30			機械警備業務 侵入、火災の監視	磐田南高校
	計	5件										

負担金支出調

(令和 6 年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会	4,000	R6.4.30
2	受講料	日本防火防災協会	受講案内	甲種防火管理新規講習	8,000	R6.6.27
3	会議参加費	全国高等学校教頭・副校長連絡協議会	開催通知	全国高等学校教頭・副校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	4,000	R6.7.8
4	会議参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	2,000	R6.7.8
5	会議参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	R6.7.12
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期545名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,186,500	R6.7.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期530名 転学者等7月分1名、7~8月分1名、7~9月分2名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	26,324,100	R6.10.31
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期1名、10~11月分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	69,300	R6.11.20
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(転学者戻入振替11月分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	R6.11.22
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期532名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,067,200	R7.1.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(転学者戻入振替2~3月分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,800	R7.2.17
計		11件			63,637,400	

(令和 7 年度)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会	4,000	R7.5.2
2	会議参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会	2,000	R7.7.7
3	会議参加費	全国普通科校長会総会・研究協議会	開催通知	全国普通科校長会総会・研究協議会	6,000	R7.7.31
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期517名、転学者等4~5月分1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,374,700	R7.7.31
計		6件			15,386,700	

建 築 工 事 調

(令和 6 年度)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当初設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	受 注 者	着手完成 (予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変更増減額	計							
1	教育管理費	袋井高等学校 校長室他空調機更新 工事	袋井市愛野 地 内	円 6,160,000	円 6,050,000	円 0	円 6,050,000	指名	(株)浅岡工業	R6.9.11 R7.2.26	円 6,050,000	校長室・保健室・ 図書室の空調機 更新	済	R6.8. 6 令達 R7.3.18 支払
2	教育管理費	袋井高等学校 プール給水管漏水修繕 工事	袋井市愛野 地 内	990,000	990,000	0	990,000	随契	(株)トダックス	R6.11.21 R7.1.29	990,000	プール給水管の 漏水箇所修繕	-	R6.10.22 令達 R7. 2.21 支払
		合 計	2 件		7,040,000	0	7,040,000				7,040,000			

(令和 7 年度)

令和 7 年 7 月 31 日現在

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当初設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	受 注 者	着手完成 (予定) 年月日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変更増減額	計							
1	教育管理費	袋井高等学校 散水配管系統漏水修繕 工事	袋井市愛野 地 内	円 825,000	円 825,000	円 0	円 825,000	随契	(株) 渥美	R7.7. 3 R7.9. 5	円 0	散水配管漏水箇 所修繕	-	R7.5.30 令達
2	教育管理費	袋井高等学校 浄化槽送風機修繕工事	袋井市愛野 地 内	891,000	891,000	0	891,000	随契	(株)旭設備工業所	R7.7. 8 R7.9.12	0	浄化槽送風機モ ータ 1 台更新	-	R7.6.18 令達
		合 計	2 件		1,716,000	0	1,716,000				0			

公 有 財 産 調

(令和 6 年度)

区分	令和 6 年 3 月 31 日現在		増		減		令和 7 年 3 月 31 日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,562,584		千円 5,209		千円 19,878		千円 1,547,915	
土地	m ² 63,361.82	1,317,745	m ²		m ²		m ² 63,361.82	1,317,745	
立木竹	167 本	6,017	本		本		167 本	6,017	
建物	m ² 7,488.71 12,617.23	130,806	—		—	11,804	m ² 7,488.71 12,617.23	119,002	
工作物	91 個	108,016	3 個	5,209	3 個	8,074	91 個	105,151	
普通財産		15,803						15,803	
土地	m ² 314.69	15,803	m ²		m ²		m ² 314.69	15,803	
建物	m ² 125.53 125.53	0	m ²		m ²		m ² 125.53 125.53	0	
工作物	2 個	0	個		個		2 個	0	
公有財産に 準ずるもの		358						358	
電話 加入権	6 件	358	件		件		6 件	358	

「令和 7 年度中増減なし」

借 地 借 家 等 調

(令和 7 年 7 月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又は面積	借 料		契 約 期 間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台帳	現 況		単価	年額			
1	建 物	倉庫建	袋井市愛野 2 4 4 6 - 1		鉄骨造 平屋建	m ² 225.99 225.99	円 -	円 無償	自R3.4. 1 至R8.3.31	袋井高等学校 野球部 父母会長	雨天野球 練習場
2	〃	〃	〃		鉄骨造 鉄板葺 平屋建	108.40 108.40	-	〃	〃	袋井高等学校 後援会長	部室兼 管理室
3	〃	〃	〃		鉄骨造 鉄板葺 平屋建	203.01 203.01	-	〃	〃	袋井高等学校 後援会長	部室
—	—	倉庫建計				537.40 537.40					
4	建 物	雑屋建	袋井市愛野 2 4 4 6 - 1		鉄骨造 平屋建	18.32 18.32	-	無償	自R3.4. 1 至R8.3.31	袋井高等学校 P T A 会長	収納庫
—	—	雑屋建計				18.32 18.32					
建 物 計						555.72 555.72					
5	工作物	雑工作物	袋井市愛野 2 4 4 6 - 1			個 1	-	無償	自R3.4. 1 至R8.3.31	袋井高等学校 P T A 会長	歌碑
6	〃	〃	〃			1	-	〃	〃	袋井高等学校 P T A 会長	観覧席
7	〃	〃	〃			1	-	〃	〃	袋井高等学校 P T A 会長	三旗 掲揚塔
8	〃	〃	〃			1	-	〃	〃	袋井高等学校 後援会長	防矢 ネット
9	〃	〃	〃			1	-	〃	〃	袋井高等学校 野球部 父母会長	スコア ボード
10	〃	〃	〃			2	-	〃	〃	袋井高等学校 野球部 父母会長	掲示板
11	〃	〃	〃			2	-	〃	〃	袋井高等学校 野球部 父母会長	選手控え ベンチ
12	〃	冷暖房 装置	〃			1	-	5,359,573	自R6.7.1 至R19.6.30	N T T ・ T C リース㈱静岡 支店	特別教室 空調
工 作 物 計						10 20		5,359,573			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年度)

(令和 7 年 7 月31日現在)

区分	事業名又は 契 約 名	内 容	契約額	(契 約 額 の 年 度 別 内 訳)								
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
長期 継続 契約	電子複写機 賃貸借契約	電子複写機 (契約日) 令和3年4月1日	2,661,120	円 532,224	円 532,224	円 532,224	円 532,224	円 532,224	円	円	円	円
	カラー印刷機 賃貸借契約	カラー印刷機 (契約日) 令和7年4月1日	3,729,000					745,800	745,800	745,800	745,800	745,800

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	支線1条	1,500	1,500円	R3.4.1 ~ R8.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信線路 設備維持
2	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	1.00m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井市長	避難所標識 看板設置
3	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	1.00m ²	-	530	R7.4.1 ~ R10.3.31	袋井高等学校後援会長	自動販売機 1台設置
4	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	225.99m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校 野球部父母会長	雨天野球 練習場設置
5	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	12.75m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校PTA会長	歌碑設置
6	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	108.40m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校後援会長	部室兼 管理室設置
7	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	203.01m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校後援会長	部室設置
8	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	66.39m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校PTA会長	観覧席設置
9	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	14.00m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校PTA会長	三旗掲揚塔 設置
10	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	18.32m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井高等学校PTA会長	収納庫設置
11	土地	学校敷地	袋井市愛野2446-1	学校敷地	学校敷地	24.92m ²	-	免除	R3.4.1 ~ R8.3.31	袋井市長	橋梁設置

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台 帳	現 況		単価	年額			
12	土 地	学 校 敷 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	学 校 敷 地	3.32m ²	-	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	袋井高等学校後援会長	弓道場防矢 ネット設置
13	土 地	学 校 敷 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	学 校 敷 地	7.76m ²	-	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	袋井高等学校 野球部父母会長	スコア ボード設置
14	土 地	学 校 敷 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	学 校 敷 地	1.80m ²	-	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	袋井高等学校 野球部父母会長	掲示板2台 設置
15	土 地	学 校 敷 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	学 校 敷 地	50.70m ²	-	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	袋井高等学校 野球部父母会長	選手控え ベンチ2台 設置
16	建 物	事 務 所 建	袋井市愛野 2446-1	昇降所棟 RC2階建		2.00m ²	-	2,310	R7.4.1 ～ R10.3.31	袋井高等学校後援会長	自動販売機 2台設置
17	建 物	事 務 所 建	袋井市愛野 2446-1	昇降所棟 RC2階建		27.00m ²	-	免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	袋井高等学校後援会長	購買設置
18	建 物	事 務 所 建	袋井市愛野 2446-1	管理棟 RC 3 階建		0.07m ²	-	免除	R4.4.1 ～ R9.3.31	袋井市長	防災無線 移動局設置
19	建 土 物 地	事 務 所 敷 建 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	管理棟 RC 3 階建	20.70m ² 6.60m ²	-	免除	R6.4.1 ～ R11.3.31	袋井高等学校 P T A 会 長	団体職員 執務場所
20	建 土 物 地	事 務 所 敷 建 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	管理棟 RC 3 階建	10.35m ² 3.30m ²	-	免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	袋井高等学校同窓会長	団体職員 執務場所
21	建 土 物 地	事 務 所 敷 建 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	昇降所棟 RC2階建	4.00m ² 2.00m ²	-	672,466	R7.4.1 ～ R10.3.31	(株)ダイドービバレッジ 静岡	飲料用 自動販売機 3台設置
22	建 土 物 地	事 務 所 敷 建 地	袋井市愛野 2446-1	学 校 敷 地	管理棟 RC 3 階建	3,400.00m ² 56.25m ²	-	免除	R7.7.23 ～ R7.10.31	袋井高等学校同窓会長	夜間照明設置 工事
合 計								676,806			

職 員 公 舎 管 理 状 況 調

（ 令 和 7 年 7 月 31 日 現 在 ）

整 理 番 号	所 在 地	建 築 年 月	構 造	管 理 戸 (室) 数 (A)	入 居 戸 (室) 数 (B)	B の内他事務 所職員入居戸 (室) 数	空 屋 戸 (室) 数 (A - B)	摘 要
1	袋井市砂本町7-3	S52.3	木 造 平屋建	1	0	0	1	H23.4.24 ~ 空屋
	計			1	0	0	1	

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	03-03	プロジェクター	マクセル MC-AW3005J	毎日6時間(年間194日) 授業で利用	R3.3	円 5,376,250
2	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	Apple iPad他	毎日3時間(年間194日) 授業で利用	R3.3	1,904,109
3	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	富士通 ARROWS Q555/K64他	毎日3時間(年間194日) 授業・部活動で利用	H28.3	1,680,474
4	02-02	放送装置	ナショナル製一式	週1回(年間42日) 体育館で利用	H1.10	1,661,000
5	01-99	その他の庁用器具	舞台幕	月2回(年間22日) 行事・授業で利用	H24.2	884,940
6	10-07	鍵盤楽器	河合 グランドピアノ	週6時間(年間84日) 音楽授業で利用	S51.8	788,000
7	06-04	開閉配電電力制御装置	視聴覚機器制御装置	月5回(年間55日) 授業・部活動で利用	S52.9	655,000
8	10-07	管楽器	オーボエ	毎日2時間(年間194日) 部活動で利用	S61.10	610,000
9	01-02	台	視聴覚機器操作	週4時間(年間84日) 授業・部活動で利用	H2.3	561,350
10	05-04	培養機器	ラボ用オートクレーブ	月2回(年間22日) 授業教材の作成で利用	H22.3	558,600
11	01-13	ユニットキッチン	ユニットキッチン 教師用	週2時間(年間84日) 家庭科授業で利用	H9.3	525,300
12	10-07	管楽器	ファゴット	毎日2時間(年間300日) 部活動で利用	S61.6	506,000
13	09-01	展示品	絵画 題「女友達」	常時展示	H21.3	500,000
14	03-03	その他の映写機	液晶プロジェクター	月2回(年間22日) 行事・授業で利用	H19.2	493,500
15	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバ	常時使用	H29.3	475,956
16	01-13	ユニットキッチン	ユニットキッチン 生徒用	週2時間(年間84日) 家庭科授業で利用	H9.3	469,680
17	01-13	ユニットキッチン	ユニットキッチン 生徒用	週2時間(年間84日) 家庭科授業で利用	H9.3	469,680
18	01-13	ユニットキッチン	ユニットキッチン 生徒用	週2時間(年間84日) 家庭科授業で利用	H9.3	469,680
19	01-13	ユニットキッチン	ユニットキッチン 生徒用	週2時間(年間84日) 家庭科授業で利用	H9.3	469,680
20	01-13	ユニットキッチン	ユニットキッチン 生徒用	週2時間(年間84日) 家庭科授業で利用	H9.3	469,680

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	藤 村 寿 一		□□□	年 月 □ . □	
2	副 校 長	後 藤 啓 介		□□□	□ . □	
3	教 頭	大 石 公 隆	理 科	□□□	□ . □	
4	事 務 長	小 林 知 乃		□□□	□ . □	
5	教 諭	三 浦 み つ よ	保 健 体 育	□□□	□ . □	
6	教 諭	牧 田 真	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ . □	
7	教 諭	三 浦 か お り	英 語	□□□	□ . □	
8	教 諭	久 野 正 勝	理 科	□□□	□ . □	
9	教 諭	伊 達 芳 弘	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ . □	
10	教 諭	宮 地 和 也	国 語	□□□	□ . □	
11	教 諭	石 川 泰 三	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ . □	
12	教 諭	長 谷 川 明 彦	理 科	□□□	□ . □	
13	教 諭	栗 田 秀 樹	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ . □	
14	教 諭	大 須 賀 義 英	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ . □	
15	教 諭	戸 塚 恵	国 語	□□□	□ . □	
16	教 諭	佐 藤 直 子	英 語	□□□	□ . □	
17	教 諭	中 村 文 子	英 語	□□□	□ . □	
18	教 諭	鈴 木 淳 子	理 科	□□□	□ . □	
19	教 諭	西 尾 奈 緒 美	国 語	□□□	□ . □	
20	教 諭	大 石 真 理	国 語	□□□	□ . □	
21	教 諭	細 田 朋 子	家 庭	□□□	□ . □	
22	教 諭	喜 多 啓 之	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ . □	
23	教 諭	原 田 卓 彦	理 科	□□□	□ . □	
24	教 諭	安 田 玲 子	国 語	□□□	□ . □	
25	教 諭	小 谷 晶 子	英 語	□□□	□ . □	
26	教 諭	藤 井 元 喜	英 語	□□□	□ . □	
27	教 諭	田 原 由 久	数 学	□□□	□ . □	
28	教 諭	宇 津 山 剛	保 健 体 育	□□□	□ . □	
29	教 諭	徳 野 新	数 学	□□□	□ . □	
30	教 諭	木 村 幸 靖	保 健 体 育	□□□	□ . □	
31	教 諭	鮫 島 葉 子	国 語	□□□	□ . □	
32	教 諭	杉 浦 伸 幸	保 健 体 育	□□□	□ . □	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
33	教 諭	高 橋 恵 太	数 学	□ □ □	□ . □	
34	教 諭	竹 内 昭 洋	英 語	□ □ □	□ . □	
35	教 諭	鈴 木 教 資	数 学	□ □ □	□ . □	
36	教 諭	森 下 直 人	理 科	□ □ □	□ . □	
37	教 諭	吉 野 直 輝	保 健 体 育	□ □ □	□ . □	
38	教 諭	古 田 悠 樹	保 健 体 育	□ □ □	□ . □	
39	教 諭	山 本 崇 博	地 歴 ・ 公 民	□ □ □	□ . □	
40	教 諭	名 倉 真 依 子	国 語	□ □ □	□ . □	
41	教 諭	佐 藤 天 地	数 学	□ □ □	□ . □	
42	教 諭	坂 倉 拓 実	英 語	□ □ □	□ . □	
43	教 諭	田 村 凱 人	情 報	□ □ □	□ . □	
44	教 諭	浦 木 喜 紀	数 学	□ □ □	□ . □	
45	教 諭	横 田 雄 哉	英 語	□ □ □	□ . □	
46	教 諭	小 川 舞 也	数 学	□ □ □	□ . □	
47	教 諭	久 世 晴 輝	理 科	□ □ □	□ . □	
48	養 護 教 諭	上 村 純 子	養 護	□ □ □	□ . □	
49	主任実習助手	丸 山 る み 子	理 科 助 手	□ □ □	□ . □	
50	主 査	松 岡 小 巻	管 財	□ □ □	□ . □	
51	主 査	鈴 木 祥 高	会 計	□ □ □	□ . □	
52	主 事	富 田 改	庶 務 ・ 会 計	□ □ □	□ . □	
平均年数					3 . 11	

(臨時職員等)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	非常勤 講師	大 城 寿 二	数 学	□□□	年 月 □ . □	
2	非常勤 講師	久 野 正 幸	英 語	□□□	□ . □	
3	非常勤 講師	比 奈 地 千 秋	音 楽	□□□	□ . □	
4	非常勤 講師	森 重 純 子	書 道	□□□	□ . □	
5	非常勤 講師	及 川 真 有 美	美 術	□□□	□ . □	
6	外国語 指導講師	Sofia Alicea	英 語	□□□	□ . □	
7	非常勤 嘱託員	大 江 麻 美	事 務	□□□	□ . □	
8	非常勤 労務職員	三 宅 孝 二	用 務	□□□	□ . □	
9	非常勤 労務職員	大 杉 忠 夫	用 務	□□□	□ . □	
10	非常勤 労務職員	松 下 計 夫	用 務	□□□	□ . □	
11	学 校 医	田 中 総 一 郎	内 科	□□□	□ . □	健康管理医
12	学 校 医	清 水 敏 也	耳 鼻 科	□□□	□ . □	
13	学 校 医	栗 田 邦 雄	眼 科	□□□	□ . □	
14	学 校 医	小 原 仁	歯 科	□□□	□ . □	
15	学 校 薬 剤 師	望 月 志 須 雄	薬 剤 師	□□□	□ . □	

職 員 の 年 齢 調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上 30歳未満	7	
30歳以上 40歳未満	5	
40歳以上 50歳未満	14	
50歳以上 56歳未満	7	
56歳以上 61歳未満	11	
61歳以上	8	
計	52	平均年齢 48 . 2 歳

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 53 人
	職員数 54 人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

□□□ 1 人

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0
B 2		要経過観察	0
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1(1)
C 2		要経過観察	0
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	20(20)
D 2		要経過観察	6(5)
D 3		医療不要	24(16)
区 分 者 計			51(42)
未 区 分 者 数			1
合 計			52(42)

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者 に対する措置状況

□□□□□□□□

□□□□□□□□

□□□□□□□□

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人

イ 新規採用 人

ウ 自己都合による未受診 人

エ その他

(□□) 1 人